

労働時間の延長及び休日の労働は必要最小限にとどめられるべきであり、労使当事者はこのことに十分留意した上で協定するようにしてください。

なお、使用者は協定した時間数の範囲内で労働させた場合であっても、労働契約法第5条に基づく安全配慮義務を負います。

### <凡例>

  : 入力不可  
  : 入力必須  
 赤字 : 入力例  
 青字 : 上限文字数

◆ 3 6 協定で締結した内容を協定届（本様式）に転記して届け出てください。

◆（任意）の欄は、記載しなくても構いません。

[illegible]



時間外労働  
休日労働に関する協定届（続紙）

様式第9号の3の3（第70条関係）

						延長することができる時間数							
時間外労働	時間外労働をさせる 必要のある具体的事由	業務の種類 〔事業場外〕	労働者数  (満18歳以上の者)	所定労働時間 (1日) (任意)	1日		1ヶ月(①については45時間まで、 ②については42時間まで)		1年(①については360時間まで、 ②については320時間まで)				
					法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)			
④ 下記の 該当しない労働者	事業計画・経営企画の策定、見直し	管理的職業従事者	人	7 時間 30 分 〔 時間 分 〕	3 時間 分	3 時間 30 分	30 時間 分	40 時間 分	250 時間 分	370 時間 分			
	※44文字以内	※54文字以内											
	その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業											
	○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○	人	7 時間 30 分 〔 時間 分 〕	2 時間 分	2 時間 30 分	15 時間 分	25 時間 分	150 時間 分	270 時間 分			
	※44文字以内	※54文字以内											
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分			
※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分				
⑤ 1年単位の 実形労働時間 規制により労働する労働者	新規事業・プロジェクトの立ち上げ	専門的・技術的職業従事者	人	7 時間 30 分 〔 時間 分 〕	3 時間 分	3 時間 30 分	20 時間 分	30 時間 分	200 時間 分	320 時間 分			
	※44文字以内	※54文字以内											
	その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業											
	○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○	人	7 時間 30 分 〔 時間 分 〕	3 時間 分	3 時間 30 分	20 時間 分	30 時間 分	200 時間 分	320 時間 分			
	※44文字以内	※54文字以内											
	※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分			
※44文字以内	※54文字以内	人	時間 分 〔 時間 分 〕	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分				
休日労働	休日労働をさせる必要のある具体的事由	業務の種類 〔事業場外〕	労働者数  (満18歳以上の者)	所定休日 (任意)		労働させることができる 法定休日の日数		労働させることができる 法定休日における始業 及び終業の時刻					
	機械の故障等のトラブルへの対応	専門的・技術的職業従事者	人	土日祝		1ヵ月		8 時 ~ 17 時 30 分 ~ 30 分					
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内		※30文字以内					
	その他（事由不明を含む。）	分類不能の職業		1 回									
	○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○	人	その他		その他		8 時 ~ 17 時 30 分 ~ 30 分					
	※44文字以内	※54文字以内		※57文字以内		※64文字以内		※30文字以内					
				1 回									
	※44文字以内	※54文字以内	人					時 ~ 時 分 ~ 分					
				※57文字以内		※64文字以内		※30文字以内					
		1 回											
※44文字以内	※54文字以内	人					時 ~ 時 分 ~ 分						
			※57文字以内		※64文字以内		※30文字以内						
			1 回										
※44文字以内	※54文字以内	人					時 ~ 時 分 ~ 分						
			※57文字以内		※64文字以内		※30文字以内						
			1 回										

必ずページ数及び総ページ数を入力してください。



時間外労働  
休日労働  
に関する協定届（特別条項）

様式第9号の3の3（第70条関係）

事由は具体的に定めてください。 臨時に限度時間を超過して労働させることができる場合	業務の種類 【事業場外】	労働者数 （満18歳以上の者）	1日 （任意）		1箇月 （時間外労働及び休日労働を合算した時間数。 ①については100時間未満に限る。）		1年 （時間外労働のみの時間数。 720時間以内に限り。）				
			延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	限度時間を超過 して労働させるこ とができる回数 （6回以内に限り。）	延長することができる時間数 及び休日労働の時間数 法定労働時間を超過する時間数と休日労働の時間数を合算した時間数 （任意）	限度時間を超過 した労働に係る 割増賃金率	延長することができる時間数 法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 （任意）	限度時間を超過 した労働に係る 割増賃金率	
※44文字以内 その他（事由不明を含む。） ○○○○○○○○○○○○ ※44文字以内	※54文字以内 ※54文字以内 分類不能の職業 ○○○○○○○○○○○○ ※54文字以内 「分類不能の職業」を選択した場合は、自由入力欄に具体的な内容を入力してください。 ※54文字以内 ※54文字以内 ※54文字以内	人	6時間 分	6時間 分	4回	80時間 分	80時間 分	35%	550時間 分	550時間 分	35%
			6時間 分	6時間 分	3回	60時間 分	60時間 分	35%	500時間 分	500時間 分	35%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
※44文字以内	※54文字以内 ※54文字以内 ※54文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
※44文字以内	※54文字以内 ※54文字以内 ※54文字以内	人	7時間 分	7時間 分	4回	120時間 分	120時間 分	35%	700時間 分	700時間 分	35%
			7時間 分	7時間 分	3回	110時間 分	110時間 分	35%	700時間 分	700時間 分	35%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
※44文字以内	※54文字以内 ※54文字以内 ※54文字以内	人	時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
			時間 分	時間 分	回	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
限度時間を超過して労働させる場合における手続			※64文字以内								
限度時間を超過して労働させる労働者に対する健康及び福祉を確保するための措置			※42文字以内								

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1箇月について100時間未満でなければならないが、かつ2箇月から6箇月までを平均して80時間を超過しないこと（災害時における復旧及び復興の事業に従事する場合は除く）。

協定の成立年月日 年 月 日

協定の当事者である労働組合（事業場の労働者の過半数で組織する労働組合）の名称 又は労働者の過半数を代表する者の氏名

協定の当事者（労働者の過半数を代表する者の場合）の選出方法（ ）

○上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。

○上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、筆手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。

年 月 日

使用者 氏名 代表取締役 ※30文字以内  
氏名 田中 太郎 ※30文字以内

労働基準監督署長殿

1か月及び1年の法定労働時間を  
超える時間数を入力する場合、  
1年間の上限時間を計算する際の  
起算日を入力してください。  
その1年間においては協定の有効  
期限にかかわらず、起算日は同一  
の日である必要があります。

限度時間を超過して時間外  
労働させる場合の割増賃金  
率を定めてください。  
この場合、法定の割増率  
（25%）を超える割増率  
となるよう努めてください。

月の時間外労働の限度  
時間（月45時間又は  
42時間）を超過して労働  
させる回数を決めてくだ  
さい。  
年6回以内に限りです。

限度時間（月45時間又  
は42時間）を超過して労働  
させる場合の、1か月の時  
間外労働と休日労働の合  
計の時間数を定めてくだ  
さい。月100時間未満に限  
ります。

限度時間を超過して  
時間外労働させる  
場合の割増賃金  
率を定めてください。  
この場合、法定の  
割増率（25%）  
を超える割増率と  
なるよう努めてくだ  
さい。

限度時間（年360時間又は  
320時間）を超過して労働  
させる1年の時間外労働（休日  
労働は含みません）の時間  
数を定めてください。年720  
時間以内に限りです。

月の時間外労働の限度  
時間（月45時間又は  
42時間）を超過して労働  
させる回数を決めてくだ  
さい。  
災害時における復旧お  
よび復興の事業に従事  
する場合であっても、年  
6回以内に限りです。

災害時における復旧および  
復興の事業に従事する場合、  
100時間以上の時間数を定  
めることも可能です。工作物  
の建設の事業と災害時にお  
ける復旧および復興の事業の  
両方に従事する場合には、工  
作物の建設の事業に従事す  
る時間も含めた時間数を定め  
てください。

限度時間を超過して  
時間外労働させる  
場合の割増賃金  
率を定めてください。  
この場合、法定の  
割増率（25%）  
を超える割増率と  
なるよう努めてくだ  
さい。

限度時間（年360時間又  
は320時間）を超過して労働  
させる1年の時間外労働  
（休日労働は含みません）  
の時間数を定めてくだ  
さい。  
災害時における復旧および  
復興の事業に従事する場合  
であっても、年720時間以内に  
限りです。

業務の種類が8つを超える  
場合は続紙を使用します。

必ずいずれかの措置を講ずることを定めて  
ください。  
チェックボックスにチェックを入れ、右欄に具  
体的な内容を入力してください。

時間外労働と法定休日労働を合計した時  
間数は、月100時間未満、2～6か月平  
均80時間以内でなければいけません（災  
害時における復旧及び復興の事業に従事  
する場合を除きます）。これを労使で確  
認の上、必ずチェックを入れてください。チ  
ェックボックスにチェックがない場合には、有効な  
協定届とはなりません。

※いずれの入力欄についても、文字数が収まらない場合には、「別添のとおり」と記載の上、協定  
の内容がわかる資料を添付してください。



時間外労働に関する協定届（特別条項）（続紙）  
休日労働

様式第9号の3の3（第70条関係）

$$\frac{2}{2}$$

必ずページ数及び総ページ数を入力してください。

[illegible]